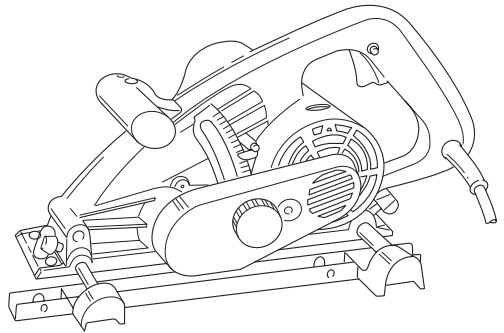
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

胴ブチミゾキリ

モデル 3804A
(ブレーキ付)

本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。

このたびは**胴ブチミゾキリ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル 主要機能	3804A	
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100V	
電流	15A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	1,430W	
回転数	9,000min^{-1} (回転 / 分)	
最大切削深さ	三面仕上カッタ	31mm
	普通カッタ	31mm
	胴ブチカッタ	25.5mm
切削幅	三面仕上カッタ	3 ～ 36mm
	普通カッタ	2.4 ～ 36mm
	胴ブチカッタ	39 、42 、46mm
全長	411mm	
質量	6.9kg	

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-2

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
・ 作業場は十分に明るくしてください。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・ 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

⚠警告

10. 保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかりと固定してください。

・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・ 使用しない、または、修理する場合。
・ 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ミゾキリ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ミゾキリとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

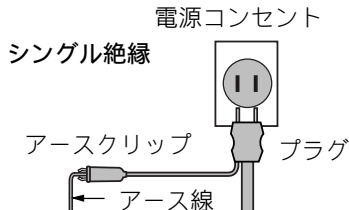
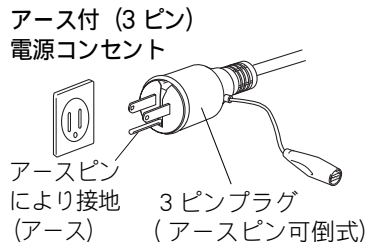
JPB122-1

⚠警告

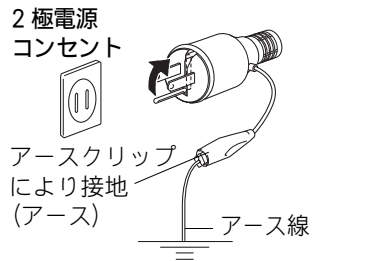
1. 必ず接地（アース）してください。

・ 故障や漏電の時、感電する原因になります。
・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。

シングル絶縁

電源コンセント
アースクリップ
プラグ
アース線

・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合
3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

・ 2極電源コンセントの場合
アースクリップをアース線に接続してください。
・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。

2極電源
コンセント

アースクリップ
により接地
（アース）
アース線

・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、
アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※ 労働安全衛生規則　第333条・第334条
　 電気設備の技術基準　第18条・第28条・第41条

⚠警告

2. **アース線をガス管に接続しないでください。**
・ 爆発の恐れがあります。
3. **つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた 3 芯コードを使用してください。**
・ アース線のない 2 芯コードですと、感電の原因になります。
4. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. **使用中は、本体を確実に保持してください。**
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. **切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。**
・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
7. **材料を手に持っての切削はしないでください。**
・ カッタに触れ、けがの原因になります。
8. **本体を万力などで保持して、カッタを上向き（定置形）にした使い方はしないでください。**
・ カッタに手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
9. **使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。**
・ 回転しているカッタに触れ、けがの原因になります。
10. **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。**
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. **誤って落としたり、ぶつけたときは、カッタや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。**
・ カッタに巻き込まれ、けがの原因になります。
13. **木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。**
・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
14. **運転中のカッタにコードを接触させないでください。**
・ 電源ショートや断線・漏電などの事故の原因になります。

⚠注意

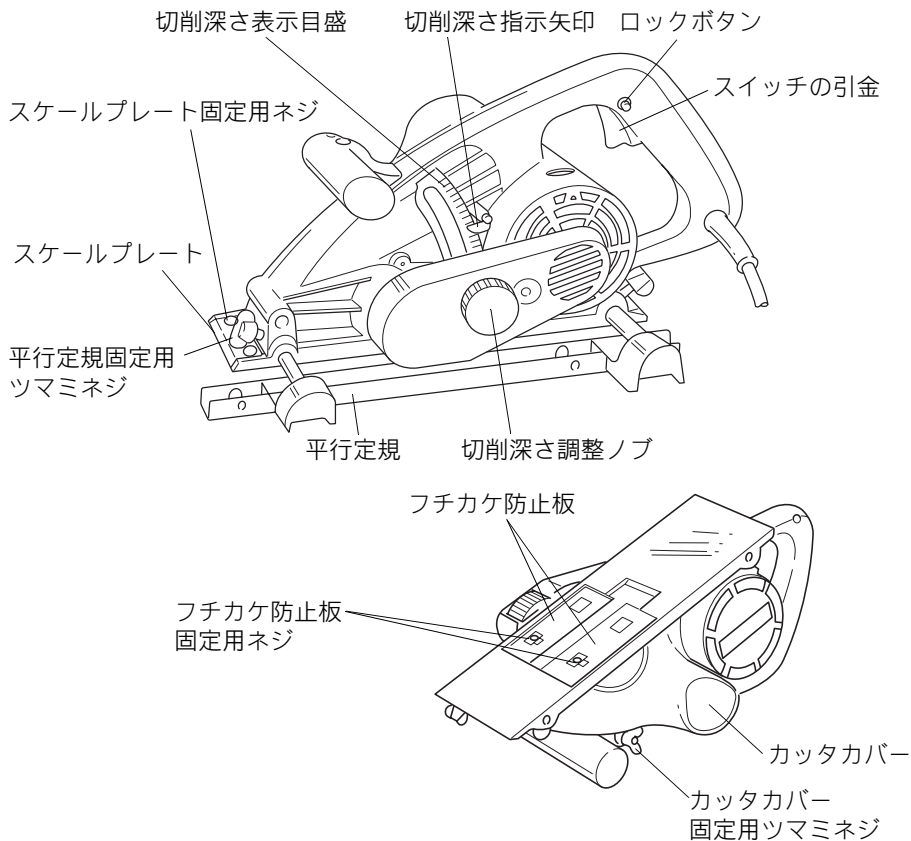
1. カッタや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
3. カッタの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、機体の底面に手など身体を近づけないでください。
・ カッタに触れ、けがの原因になります。
5. カッタの交換の際は、カッタ取付ボルトを確実に締め付けてください。
・ ボルトがゆるむと、けがの原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカッタに注意してください。
・ 手などが触れると、けがの原因になります。

注

・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

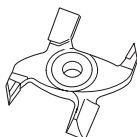
コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.00mm^2	50m	30m	20m

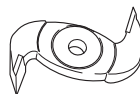
各部の名称および標準付属品

標準付属品

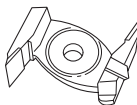
- 胴ブチカッタ 110-46
  (本機取り付け)
- フチカケ防止板
  刃幅 2.4 ～ 18mm 用
  刃幅 21 ～ 30mm 用
- スパナ 19・22
- 平行定規
  (本機取り付け)
- 傾斜定規
- フランジ 35
- 木箱

別販売品のご紹介

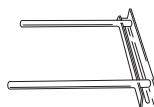
別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。

・ 三面仕上カッタ
(外径120×内径15mm)

刃幅 (mm)	部品番号
—	
3.0	A-22595
3.9	A-22604
4.5	A-22610
5.5	A-22626
6.0	A-22632
7.5	A-22648
9.0	A-22654
10.5	A-22660
12.0	A-22676
13.5	A-22682
15.0	A-22698
16.5	A-22707
18.0	A-22713
21.0	A-22729
30.0	A-22735
33.0	A-22741
36.0	A-22757

・ 普通カッタ
(外径120×内径15mm)

刃幅 (mm)	部品番号
2.4	A-22414
3.0	A-22420
3.9	A-22436
4.5	A-22442
5.5	A-22458
6.0	A-22464
7.5	A-22470
9.0	A-22486
10.5	A-22492
12.0	A-22501
13.5	A-22517
15.0	A-22523
16.5	A-22539
18.0	A-22545
21.0	A-22551
30.0	A-22567
33.0	A-22573
36.0	A-22589

・ 胴ブチカッタ
(外径110×内径15mm)

刃幅 (mm)	部品番号
39	A-22763
42	A-22779
46	A-22785

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）

・ 胴ブチ用ガイド
部品番号 164582-7

・ 合じゃくり定規
部品番号 192270-6

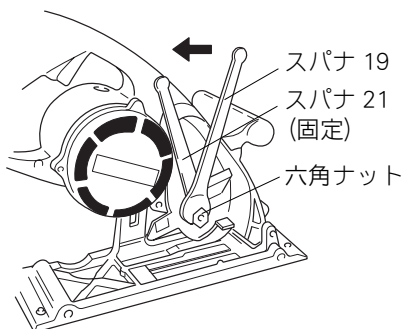
カッタの取り付け・取りはずし方

⚠警告

カッタの取り付け・取りはずしおよび調整の際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・　プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

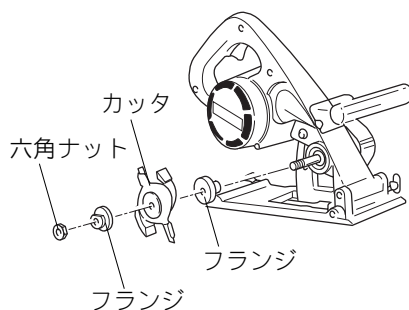
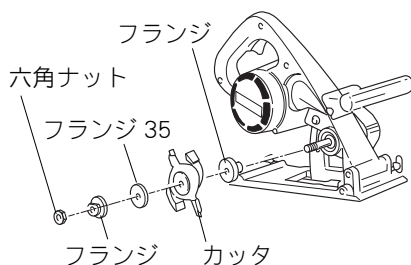
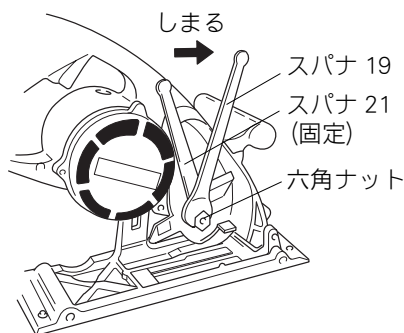
取りはずし方

- カッタカバー固定用ツマミネジをゆるめてカッタカバーをはずしてください。
- フランジの切り欠け部にスパナ 21 をかけて固定し、スパナ 19 で六角ナットをゆるめてフランジとカッタをはずしてください。

取り付け方

⚠注意

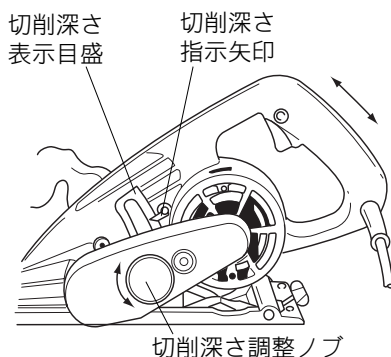
カッタを取り付ける際には、カッタの中心をつかむように取り付けてください。

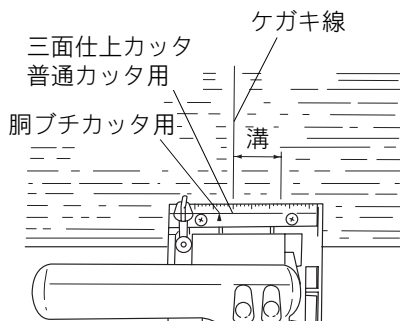
・　直接刃先に触れますと、切り傷の原因となります。

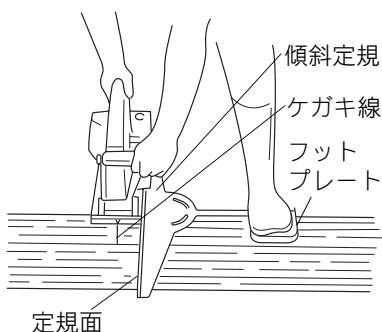
・　カッタを回転方向にあわせてフランジ→カッタ→フランジ→六角ナットの順に取り付けてください。

・　刃幅が 7.5mm 以下のカッタを使用されるときは、フランジ 35 をカッタとフランジの間に入れてください。

・　六角ナットは確実に締め付けてください。

注

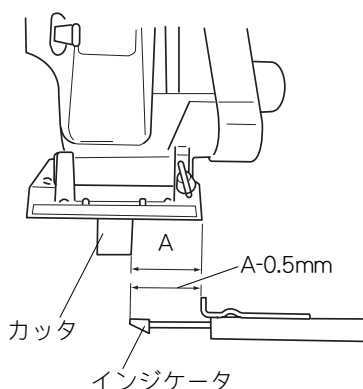
・　**カッタ軸やフランジなどについた切り屑をよく拭き取ってください。**

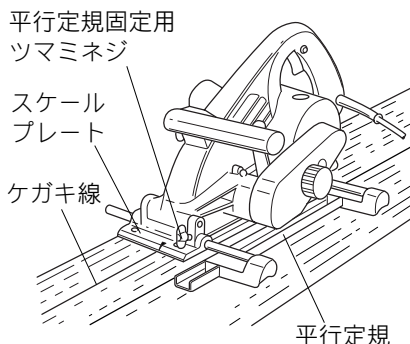
切削深さの調整

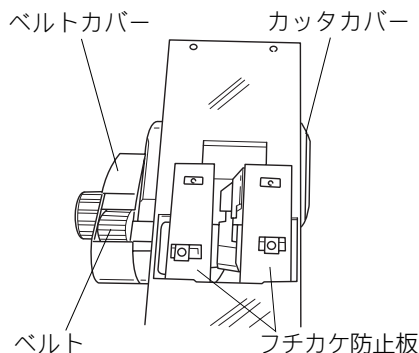
・ 切削深さの指示矢印を切削深さ表示目盛に合わせ切削深さ調整ノブでしっかり固定してください。
※ 1目盛で切削深さが3mm変わります。

切削位置

・ スケールプレートの▲印をケガキ線にあわせてください。
※ スケールプレートの1目盛は3mmです。

傾斜定規の使い方

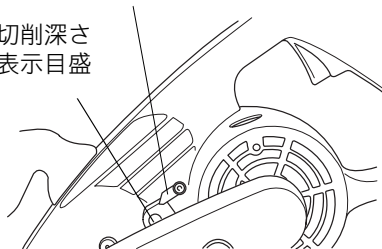
・ ケガキ線に傾斜定規の定規面が一致するように角度を調整してください。
・ 本機のスケールプレートの▲印とケガキ線が一致するように傾斜定規を置いてください。
・ 傾斜定規のフットプレートを足で押えて定規面に沿うように本機を前へ進めてください。

傾斜定規のインジケータを使っての位置決め

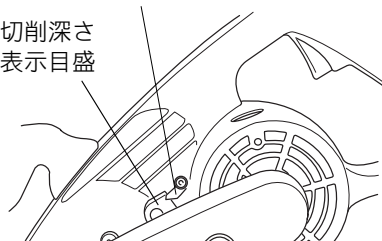
- インジケータを使って位置決めができます。
- カッタとインジケータが接触しないようにインジケータを 0.5mm 短かく固定してください。
- ケガキ線に対して 0.5mm インジケータの位置をずらして傾斜定規を固定し作業してください。
  ※ 角度を変更した時は、インジケータの調整をやり直してください。

平行定規の使い方

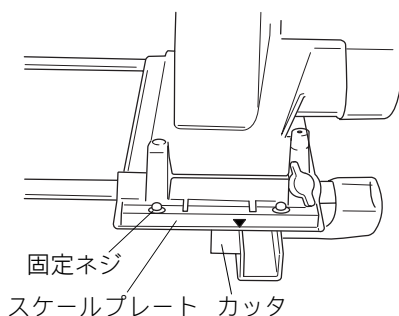
- 溝をまっすぐ切るために、平行定規を使用してください。
- スケールプレートの▲印とケガキ線が一致するように平行定規を平行定規固定用ツマミネジで固定してください。

フチカケ防止板の調整

- カッタカバー側フチカケ防止板はカッタの刃幅により、2.4 ～ 18mm 用、21 ～ 30mm 用、33 ～ 46mm 用がありますので、カッタにあわせて交換してください。
- 手でベルトを回しながらカッタの側面刃がさわらない程度にすき間を調整してください。

切削深さ指示矢印の調整

- カッタを交換したときは切削深さ指示矢印の調整を行ってください。
- 手でベルトを回しカッタを回転させ刃先とベース底面が一致するように固定してください。
- 切削深さ指示矢印を切削深さ表示目盛の零点にあわせてください。

カッタ外径 φ110mm（標準）

- 外径 φ120mm のカッタに交換する時は切削深さ指示矢印を付け直してください。

カッタ外径 φ120mm

スケールプレートの調整

- スケールプレート固定ネジをゆるめ、スケールプレートの▲点をカッタの内側面と一致するよう調整してください。

使い方

スイッチの操作

⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。

⚠注意

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。

・ 本機を落としたりし、けがの原因になります。

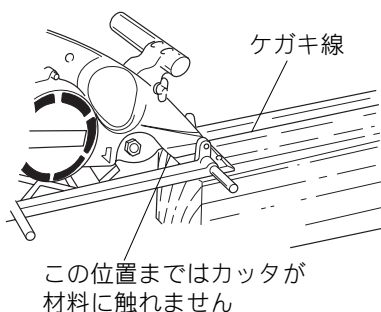
・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっぱいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

削り方

⚠注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。

・ 反発が生じ、けがの原因になります。

・ カッタが材料に触れないように切削位置をあわせてください。
・ スイッチを入れ回転が安定してから本機が傾かないように前へ進めてください。

別販売品の使い方

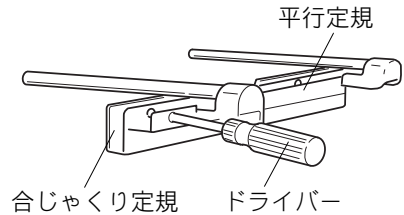
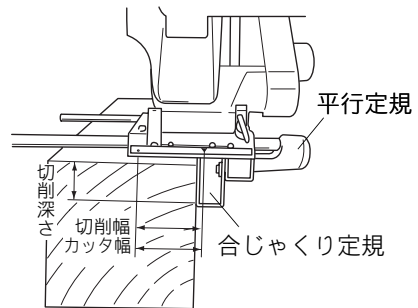
⚠警告

別販売品の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。

・ プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

合じゃくり定規

・ 角材の角部を削り取る場合に使用してください。

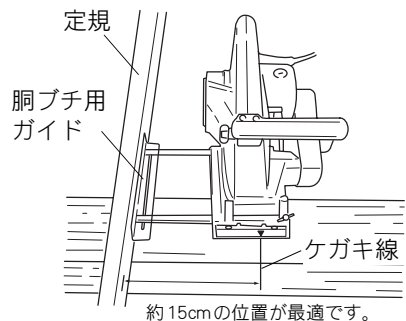
・ 合じゃくり定規は平行定規にネジ止めして使用してください。

・ カッタの右端がケガキ線と一致するように合じゃくり定規を固定してください。

胴ブチ用ガイド

・ 定規は側面が直線であるものを用意してください。

・ 用意した定規をケガキ線に平行に固定してください。

・ ケガキ線と▲印が一致するように胴ブチ用ガイドを調整し作業してください。

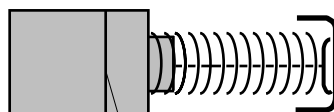
約15cmの位置が最適です。

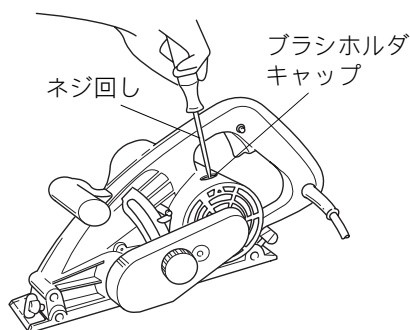
保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

・　カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
　カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
　このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
　新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。

・　ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。

・　中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
　カーボンブラシは 2 個で 1 組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。

ご修理の際は

・　修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

881614E2

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)